

『教育実習』報告

[市立 Y 中学校 理科] 氏名：H.K

生徒とは、休み時間や昼食時などで、よくコミュニケーションをとることができた。その中で、中学生が好きなものであたりと聞いて、自分で調べたりして、コミュニケーションをとることも大切なのかなと感じた。生徒指導では「当たり前のことは当たり前にして」という目標でされていた。学校が始まって、しっかりとルールなどを伝えることで、できなければ注意したりして全員が当たり前のことができるようになるために、配慮されていた。また、あいさつや、くつ、スリッパなどそろえることは徹底されていた。できなければ、学年集会などでくつをそろえる練習をしたり、生活習慣が乱れると学校も乱れるということで、これらは口酸っぱく指導されていた。

学校運営では集団を動かす難しさを感じた。学年集会校、生徒を各クラスにかえすとき、校舎のつくりを考えて、指示することの大切さも教わった。